

御歳暮や年始のご挨拶に
平成 26 年（2014）の干支・御題菓子販売

株式会社虎屋は、平成 26 年（2014）の干支「午（うま）」と歌会始のお題「静（せい）」にちなんだ新商品を、年末年始の期間限定で販売いたします。大切な方への御歳暮や、ご親戚一同でお集まりになる年始に、おめでたい、その年ならではのお菓子をぜひご利用ください。

●平成 26 年（2014）は午年

馬は『日本書紀』にも登場し古くから親しまれている動物。馬にちなんだお菓子をご紹介します。



干支羊羹 『うま か馬駆ける』

馬が草原を駆け抜ける様子を緑と黒の煉羊羹で表わしました。大地をわたる爽やかな風をも感じさせます。

販売期間：

2013 年 11 月下旬～2014 年 1 月下旬

販売店舗：全店

価格：3,623 円（本体価格 3,450 円）



干支パッケージ小形羊羹

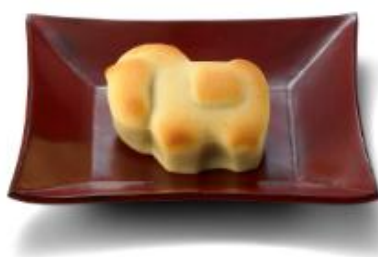
『夜の梅』（小倉羊羹）、『おもかげ』（黒砂糖入羊羹）、『新緑』（抹茶入羊羹）の 3 種類を干支のパッケージでご用意しました。

販売期間：

2013 年 11 月 20 日～2014 年 1 月上旬

販売店舗：全店

価格：1 本 252 円（本体価格 240 円）



『ふくこま福駒』（桃山製 特製御膳餡入）

「駒」とは馬の子、または小さい馬という意味です。また、仔馬は生まれてすぐに立ち上がることから立身出世の象徴とされてきました。『福駒』は縁起の良い仔馬をかたどった、新春にふさわしい意匠です。

販売期間：2013 年 12 月 16 日～2014 年 1 月 15 日

販売店舗：東京・京都地区の生菓子取扱店

価格：473 円（本体価格 450 円）

＊「卵」を含む

●平成 26 年（2014）の歌会始のお題は「静（せい）」

「歌会始」について

人々が共通の題で歌を詠み、その歌を披講する「歌会」。その中でも、天皇によって開催されるものを「歌御会」といい、年の始めに開かれるものは「歌御会始」と呼ばれていました。1926 年以降は「歌会始」と改められ、今に至ります。2014 年の歌会始のお題は「静（せい）」です。

「御題菓子」とは？

その年の歌会始の「お題」にちなみ、考案された菓子。明治 7 年（1874）、それまでは皇族・側近のみの参加であった歌会始に、国民の参加も認められるようになりました。こうして歌会始の「お題」が身近なものになってきたことも背景に、明治 21 年（1888）、京都の上菓子屋の有志が集まり、「お題」にちなむ菓子の展示を開催。これをきっかけに「御題菓子」をつくる店が増えていきました。



御題羊羹 『希望の光』 きぼう ひかり

太陽は古代より世界各地で崇められ、神聖視されてきました。そのあたたかい光は万物を照らし、人々に希望や夢を与えてくれます。
御題羊羹『希望の光』は、太陽が静かに昇っていく様子を、紅煉羊羹と白道明寺羹で表わしました。平成 26 年（2014）のお題「静」にちなんで考案された、新年にふさわしいおめでたい意匠です。

販売期間：

2013 年 11 月下旬～2014 年 1 月中旬

販売店舗：全店

『心 しずか』(外良製 紅餡入) <右> こころ

『心しずか』は、新年を迎え、静かでおだやかな気持ちを表わした菓銘です。年のはじめにふさわしい紅餡の華やかな色合いもお楽しみください。

販売期間：2013 年 12 月 16 日～2014 年 1 月 15 日

販売店舗：生菓子取扱店全店

価格：441 円（本体価格 420 円）



『夜のしじま』(琥珀製) <左> よる

「しじま」とは物音一つしない静寂のことです。
『夜のしじま』は、しんと静まり返った夜半に、星が輝いている様子を思わせる意匠です。上段のほんのりと透ける琥珀製と、下段の深い色合いの煉製で果てしない夜空を、金箔で無数の星を表わしました。

販売期間：2013 年 12 月 16 日～2014 年 1 月 15 日

販売店舗：東京・京都地区の生菓子取扱店

価格：473 円（本体価格 450 円）



<本件に関するお問い合わせ>

株式会社 虎屋 社長室広報課 担当：小泉

電話：03-3408-4128 FAX：03-3796-1548 MAIL：kouhou@toraya-group.co.jp